

「見やすく」「読まる」広報誌を作るには？

栃木市 総合政策部
シティプロモーション課

12班
コミュニティデザイン学科
建築都市デザイン学科
社会基盤デザイン学科
小松崎遙
遠山孔一
尾崎光城
八木橋紗芳
棟方陽平

「見やすく」「読まる」
広報紙の作成
・若者の興味を引くような
・デザイン・内容。
・魅力がより伝わりやすい
広報紙のデザイン・構成。

一二班の目標

若者に市の魅力を直接伝えられるという点で、広報紙は重要な役割を果たす。他の世代の読者に比べてかなり少ない、若い世代の読者を増やすことを目的とする。

目的

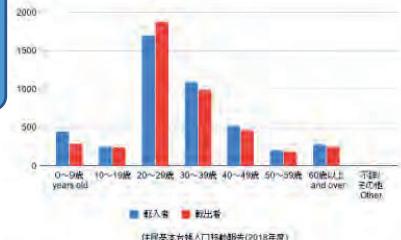


図1. 栃木市の転出入者数(2018年)

栃木市の人口は現在、減少傾向にあり、若い人材の流出が問題である。市内に大学がないこともその一因であると考えられるが、市の魅力がうまく伝わっていないことも課題である。

背景

高校生向けアンケート
国学院大學栃木高校の生徒に協力を依頼。一二〇人が対象。

他広報紙の分析
・一行あたりの字数が多い
・写真の効果的な使用
↓全体的に見やすい

寄り添った親しみやすい広報紙
・十代の読者が少ない
・地域の魅力や文化を伝えるものにしてほしいなどの意見
↓住民に焦点を当てた、地域に

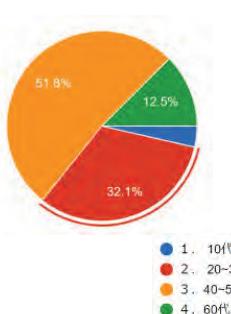


図2. 「広報とちぎ」読者の年齢

分析結果

紙面上アンケート
・他広報紙の分析
・賞などの広報紙を分析。
・高校生向けアンケート
国学院大學栃木高校の生徒に協力を依頼。一二〇人が対象。

調査方法

提案

インターネット・SNSの活用

① SNSからのアクセスを簡単にする

ことでも若者の読者増加を図る。

TwitterやInstagramなどのSNSから閲覧しやすい

♪若者が読める機会を増やす

↓インターネットの利点を生かして、記事と関連するサイトへアクセスしやすくする。

ネットの特徴を活用

↓記事にリンクやQRコードを載せ、関連サイトへ飛べる仕組み

③紙面にも関連サイトへ飛べるQRコードを掲載する。

紙で読む人もネットを通じ、さらに情報を得られるようにする仕組みづくり

④紙面にQRコードを掲載する。QRコードを読み取ることで、地元の取材記事で地域ごとの伝言板や歴史について話してもうかる。

⑤住民への取材記事で地域ごとの伝言板や歴史について話してもらう。

④地域の伝言板のようなコーナーを用意する。「自治会のリレー投稿板」や「我が家が面白かった話」が読みたいという意見を分析した他の広報紙にも見られた。

⑤住民への取材記事で地域ごとの伝言板や歴史について話してもらう。

「地域の文化や歴史などの魅力をより伝えるものにしてほしい」という意見

↓住民に焦点を当てた内容

若者に触れてもらいたいSNS、広報紙づくりが大切。

この五つの提案については一つ以外は実行できなかった。レイアウトの工夫で紙面の作り方に於いては左図のように記事を作成し、二月号に掲載していただいた。

一行あたりの文字の量を少なくし、白を増やして読みやすさを重視した。中央に記事の目的である「五つの提案」についてまとめ、記事の概要がわかるようにした。



図3. 広報とちぎ 2月号(12班作成記事)

記事の内容